



当院でいつでも検査できます。お気軽に受付へお声がけください。



# 尿検査で 卵巣がんを 早期発見

尿を採るだけ 痛くない

クライフユウコ 様

miSignal™ (卵巣がん) 結果票

年齢 38 性別 女性  
 受診番号 CHAF-2 検査受付日 2020/3/20  
 受付機関 フライフクリニック  
 受診検体ID 000001

**現時点でのあなたの卵巣がんリスク判定**

**低**

今回の検査で、あなたが卵巣がんであるリスクは「低」となりました。  
 本検査は、がんの発生率が高い集団に存在する卵巣がん（以下、マイシグナル™）の濃度を測定することで、検査時点での卵巣がんリスクを調べます。リスク判定が「高」の場合は、追加検査の受診をおすすめします。

<b>現時点でのあなたの卵巣がんリスク</b> <b>0.1%未満</b> <small>あなたと同じ性別・年齢・年代で卵巣がんの発生率が最も低い集団に属していることを示します。現時点での卵巣がんリスクを非常に低いと判定します。</small>	<b>同世代・性別と比べたがんリスクの高さ</b> <b>同程度</b> <small>あなたと同じ性別・年代で卵巣がんにかかっている割合は平均的な値です。</small>	<b>追加検査受診のすすめ</b> <b>低</b> <small>今回の検査の結果、卵巣がんのリスクは「低」と判定されています。今後とも定期的な検査をおすすめします。</small>
--	--	--

**現時点でのあなたの卵巣がんリスクスコア**

0.0 0.3 1.0  
 リスク低 リスク高

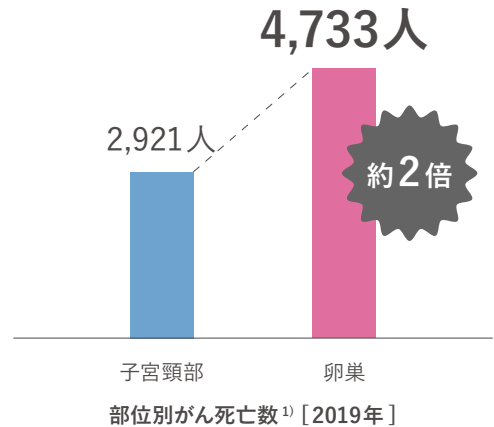
腫瘍マーカー測定により、あなたの尿中に存在するマイシグナル™の濃度が、がんの発生率が高い集団のレベルに達していることを示したスコアです。陽性率が高いと、「がんの発生率に存在するマイシグナル™のレベルに達している」と判定されます。

①検査結果は、医師が読んで、お言葉に添った上で「結果」としてお伝えさせていただきます。また、医師が検査結果を伝えることはありません。  
 ②検査結果としてお伝えするがん発生率が低い集団に属していることを示す結果である可能性があります。  
 ③検査結果としてお伝えするがん発生率が高い集団に属していることを示す結果である可能性があります。  
 ④検査結果としてお伝えするがん発生率が高い集団に属していることを示す結果である可能性があります。

※検査結果はイメージです

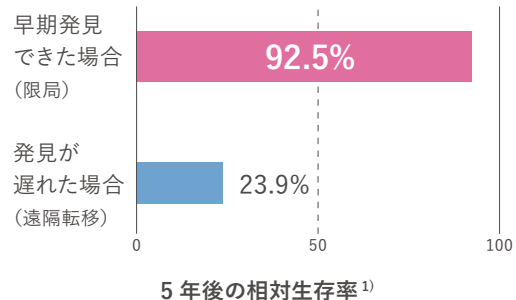
30代から急増する卵巣がん、  
 実は、死亡者数は  
 子宮頸がんの約2倍<sup>1)</sup>です。

卵巣は骨盤の奥深い場所にあり、検診で異常が見落とされることが多くあります。その上、初期症状が少ないため、リンパ節等に転移してから初めて発見され、手遅れになるケースもあります。



早期発見が治療の鍵と  
 言われています。

「見られる検査は恥ずかしい」という理由から検診を控える方が少なくありません。しかし、早く見つければ、生存率が大きく改善します。



1) 国立研究開発法人国立がん研究センター、「がん種別統計情報」. がん情報サービス. 2021年. [https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/cancer/19\\_ovary.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/19_ovary.html). (参照 2022-1-17).

# がんの早期発見なら miSignal™

miSignal™は、名古屋大学発の最新テクノロジーを利用することで、尿からがんの早期発見を行う検査です。



## 高精度に初期がんを検出

独自の最新技術を利用することで、従来の検査方法では見つかりにくい初期がん（ステージI/II相当）でも高精度で検出する検査システムを構築しています。



# 2

## 痛みを伴わない

お近くの提携病院で尿を提出いただくのみで検査可能です。痛みの伴う従来の検査に苦手意識がある方や、お忙しい方にこそ受けていただきたい検査です。

# 3

## 多数の医療機関と連携

当社は、多数の医療機関と提携して検査後の体制に注力しています。検査の結果、万一「がんリスク高」となった場合でも、必要に応じて病院・診療科へのご紹介など、速やかにその後の精密検査へ繋いでいきます。



尿を採るだけ！

## 簡単3ステップの検査フロー

検査日に遠方の病院へ通院いただく必要はありません。採尿していただき、お近くの提携病院にご提出いただくだけで、数週間後に検査結果を受け取ることができます。

1

お近くの病院で  
検査予約



2

採尿、提出



3

検査結果  
説明、問診



## 専門家の方々にもご支持いただいています

### 涌井 昌俊 先生

慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 准教授



「気になることがあるけれど、時間が無い、面倒」等の理由で検診・検査は敬遠されがちですが、早期発見のためには適切な頻度で検診を受けつけることが大変重要です。体に負担をかけない尿検査を行うことは、未来を守るための新しい身近な選択肢として期待されます。

### 宗田 聡 先生

医学博士・産婦人科医・臨床遺伝専門医



ガン治療で最も重要なのは「早期発見」です。miSignal™は、初期症状がない上、これまでの検査では捉えにくかった早期がんの治療に一石を投じる検査といえます。miSignal™から早期発見で救える命が増えることを期待しています。多くの人にぜひ受けてもらいたいです。